



New

Kirari

2021年度
New Kirari

VOL. 1

『笑顔であいさつ・みんながつながる安全な町』
2022年(令和4年)3月8日発行 発行元 広報部
発行責任者 会長 森本 和人

花いっぱいプロジェクト2021

今年度は、まちづくり協議会とPTA学級委員の共催のイベントから地域教育協議会も参加して、より大きな地域と学校が共同で取り組むイベントになりました。



新しく、じょうろを購入していただいたり、プランターもいくつか新調していただきました。



また、テニスコートの花壇も新設していただき、花プロのメンバーより急遽テニスコート花壇の担当者も立候補して水やりや苗の植え付けなど協力してもらっています。



【千新 青色防犯パトロール隊】

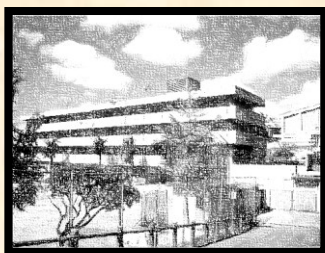
小学校の登下校の時間帯に青色ライトを点滅させながら二人一組でパトロールをしています。



運転手さん募集中！

一緒に運転・パトロールしませんか！
事務局 大野和之 携帯:090-5898-0743





「出会いを大切に」

南千里中学校 校長 羽間 博子

3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。今まで子どもたちを温かく見守り、支えていただいた地域の皆さま、本当にありがとうございました。

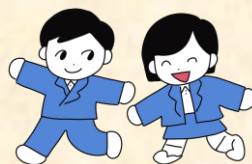
子どもたちは、9年間の義務教育を終え、旅立ちの時を迎えます。中学校3年間、様々な人・書物・自然、喜びや悲しみなどたくさんの出会いを通して、人との繋がりや絆の大切さを学び、大きく成長してきました。そして、これからの新しい出会いは、自分と違った価値観や考え方をもたらしてくれ、自分自身の中に隠れているものを引き出してくれる機会ともなります。

出会いを大切に育て、自分らしく未来を切り開いていってほしいと願っています。この地域は、子どもたちの「ふるさと」です。これからも温かく励まし、見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

「知恵」と「強さ」で

南千里中学校 PTA会長 船盛 清輝

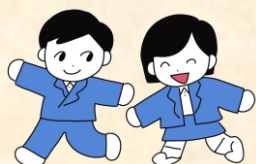
2021年度南千里中学校PTA会長の船盛です。この度はご卒業・ご卒園おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症により右往左往させられ早や3年目となります。中学生生活は3年間と決して長くはない中で、今年の卒業生は2年次3年次と、まるまる制限を余儀なくされました。制限付きのイベント、中止になったイベント等々。それでもいろいろな工夫をこらして出来ることを精一杯最大限に行うことを考える「知恵」を身に付けることができたのではないのでしょうか。この異例のコロナ期間での数々の経験からこれから先の人生においていろいろな逆境が立ちはだかった場合、今回身に付けた「知恵」と、そして「強さ」でそれらに屈することなく乗り越えていけるものだと私は確信しています。



「自分が楽しいと思うこと」

千里新田小学校 PTA会長 小川 将史

ご卒園ご卒業を迎えられる皆さん、そしてご家族の皆様おめでとうございます。制限があるなかでの生活も早3年目を迎えようとしております。



私たち保護者（大人）も、子ども達と同様に2年前から、生活様式や仕事の仕方も変えざるをえなくなり、余計なストレスを溜め、マスクを毎日使い、あらゆる場所で消毒液を手に吹き付ける毎日。みんなで集まってワイワイと遊ぶことができず、感染状況が悪化するとイベントは即中止。お知らせが届く度、ため息を幾度となくついたことを思い出します。かといって今の状況を嘆いてみても仕方ありませんし「コロナウイルスのアホー！」と叫んでも、「もう無理！」とイライラして周りにあたっても何も解決しません。4月からの学校生活では、その時々順応しながら、自分が楽しいと思うことを見つけてください。



活 動 報 告

— 文化部 子育て支援事業 —



安心・安全に活動できるよう
サーモグラフィカメラを設置！

中学校の「花いっぱいプロジェクト」や小学校の「太陽の広場」、幼稚園の子育て支援事業が安心・安全に行えるよう、サーモグラフィカメラや手指消毒液等を購入しました。それぞれ園や学校の玄関に設置し、地域教育協議会の事業だけでなく、毎日の感染防止対策に活用されています。

【 来園・来校時には、マスクを着用！ 検温・手指消毒を！！ 】



【 幼 稚 園 】



【 小 学 校 】



【 中 学 校 】

● 4月から千里新田こども園に変わります

千里新田幼稚園は43年間、地域の子供達とともに歩んできました。令和4年4月1日からは『千里新田こども園』となります。

これから新しい歴史を、子供達・保護者の皆様とつくっていきます。

地域の皆様ありがとうございました。そしてこれからもよろしく
お願いいたします。



感染予防
対策



自動水栓！



ペーパータオル！



消毒液！

楽しい居場所づくりに なるように

南千里中学校区地域教育協議会

会長 森本 和人



新型コロナウイルス感染拡大は2年を過ぎました。2月5日には全国で10万人を超え、大阪においても1万5千人を超えています。3月に入っても、まん延防止法も継続されるなどまだまだ予断を許さない状況は続いています。また、オミクロン株の感染急拡大により子どもの感染が大きく増加しています。学校、幼稚園、保育園などでは、あらゆる感染対策を行いながら子どもたちのために運営を続けています。週を追うごとに感染者数の割合が鈍化してきているとはいえ、まだまだ安心できる状況にはありません。今後も、人から人に感染しにくい状況をつくり、ワクチン接種や薬、各種検査などを活用していかなければなりません。



地域教育協議会は3月末に事業年度末を迎えることとなりますが、今年度も予定していた事業活動を展開するには至っていません。この2年間、地域教育協議会だけでなく、まちづくり協議会や青少年対策委員会、その他多くの団体においても子どもたちに

事業活動ができないために、子どもたちが経験や体験活動ができなくなり、不要不急な外出自粛による不安やストレスの軽減や発散ができる「居場所」がなくなっています。また、地域の大人との接触も少なくなり、子どもの発達・成長への影響も少なからずあります。

国立成育医療研究センターのグループが新型コロナウイルスによる子どもたちへの影響について調査した結果、新型コロナの影響で「先生や大人への話しかけやすさが減った」と答える子どもが50%以上あり、「コミュニケーションが取りにくい」状況となっているとの報告もあります。

4月からは、新年度を迎えることとなりますが、現状を踏まえて「こんなことだったらできる」ことや、「新型コロナが収束傾向なればできる」ことなどを企画し、子どもにとっても大人にとっても「楽しい居場所づくり」になるようにと引き続き事業活動を行って参ります。これからも、地域、学校、保護者が手を携え、誰もが楽しい活動となるように取り組みをすすめてみましょう。

南中ミステリースポット！！



プラトンがギリシャのアカデメイアにつくった学園にちなんだものか！
南中の西のメタセコイアなどの森の中に、二つ折りにされたイオニア式列柱の遺跡とおぼしき特製のベンチ群がある。



このルネ・マグリット風の景観の生い立ちを誰か知っているのだろうか。南中のミステリースポットである。

